

肥前千葉氏の信仰

佐賀県小城市教育委員会 古庄秀樹

千葉氏が小城にもたらした信仰

1. 妙見信仰

① 古文書

- ・千葉胤貞置文案「光勝寺文書」 正中元年(1324) 妙見大菩薩 御罪
- ・千葉胤泰請文「宗像神社文書」 暦応四年(1341) 妙見大菩薩 御罰

② 北浦妙見社、西晴気妙見社

2. 日蓮宗

① 勝妙寺 日蓮曼荼羅本尊、中山法華経寺歴代貫首曼荼羅本尊

- #### ② 光勝寺 鎮西本山 妙見信仰とのつながり・・・境内地内の妙見社の存在
- ・千葉胤貞讓状「中山法華経寺文書」 光勝寺職、妙見座主 元徳三年(1331)

3. 禅宗

① 円通寺 三大興国禅寺 鎌倉建長寺とのつながり・・・海西法窟

② 三岳寺



北浦妙見社



円通寺



日蓮曼荼羅本尊

4. 祇園信仰

須賀神社

【由来】

- ・千葉胤貞が京都の八坂神社を勧請した。
- ・西川須賀雄によると延暦22年(803)創建の清雄神社を千葉氏が再興し、祇園社になったという。

【日蓮宗とのつながり】

- ・光勝寺の僧が座主を務めていた。

【妙見信仰とのつながり】

- ・「妙見之宝剣」がご神体として祭られていたが明治になり光勝寺に移される。
- ・宝剣の由来・・箱書きによると千葉氏が代々家宝として伝え、文保元年(1317)に千葉胤貞が小城牛頭山において妙見神体としたものだという。

【山挽祇園】

- ・千葉胤貞が始める。
- ・江戸時代には2台の山がひかれる。
- 「見事みるなら博多の祇園、人間みるなら小城の祇園」
- ・江戸時代後期に一旦中止になるが明治初期に町民によって再興され、現代につながる。3台の山がひかれる。



山挽祇園 下町の山

【肥前千葉氏の信仰の在り方】

多様で複雑、小城の祇園・牛頭天王信仰は千葉氏の精神生活を支えた法華経信仰と妙見信仰が深く結びついていた。 三ツ松誠氏 佐賀大学